

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

株式会社 **アーレスティ**

証券コード：5852

第**99**期 中間
株主通信

2019年4月1日▶2019年9月30日



株主の皆様へ

第99期第2四半期の業績と今後の見通しに関して

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社グループの現状と今後の展望についてお答えします。
なお、第99期第2四半期の業績については3ページ以降をご覧ください。
今後とも、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

代表取締役社長

2019年12月

高橋 新



Q1 第99期第2四半期の業績と今後の見通しに関してお聞かせください。

自動車販売の減速によりダイカスト事業はすべてのセグメントにおいて売上が計画を下回り、下期においても下方修正に至っております。遺憾ながら、中間配当も減配させていただきました。大変厳しい経営環境ではありますが、このような需要低迷期こそ企業体力強化のチャンスと捉え、改善活動等にまい進してまいります。

残念ながら、自動車販売の減速によりダイカスト事業の売上はすべてのセグメントにおいて計画を下回っております。地域別では、日本、アメリカにおける主

要取引先の生産減少、中国系自動車メーカーの販売低迷、インド国内需要の大幅な減少の影響によるものです。各地における自動車販売の回復には時間を要す状況となっており、下期についても業績見通しの下方修正に至っております。

また配当に関しては、持続的成長のための財務体質と経営基盤の強化を図りつつ安定的な株主還元を行うことを基本方針としておりますが、足元の厳しい環境に鑑み、遺憾ながら中間配当を減配させていただきました。

依然、米中貿易摩擦やインドの需要回復策の影響については見通しが難しい状況下です。大変厳しい経営環境ではありますが、このような時こそ日頃できなかった改善のチャンスと捉えております。この機会を最大限に活かし企業体力の強化にまい進してまいります。

Q2 今年度からスタートした中期経営計画の進捗状況に関してお聞かせください。

品質・売上・収益・人材に重点を置いた計画を進めております。製造工程での品質の作り込みを積極的に推進し、OPCC※の確立を目指します。2022年度以降の受注と新規取引先の確保、生産性の向上とリッチな生産体制の構築による収益向上、人材育成と作業環境の整備を進めております。

品質・売上・収益・人材に重点を置いた計画を進めております。

アルミニウムを溶かして成形するダイカストはきめ細かな品質コントロールが必要とされています。製造工程での品質の作り込みを積極的に推進しており、OPCC※の確立を目指しています。難易度の高い製品でも安定した品質で提供し高い評価を得るなど、お客様からの更なる信頼向上につながる成果が出てきております。これらの知見の展開を進めてまいります。

売上については国内外で2022年度以降の受注活動を進めており、各地域における新規受注や新規取引先の確保が進んでおります。

収益向上については、生産性の向上とリッチな生産体制の構築を進めております。生産性の向上には、金型や設備の改造が必要となり成果を得るまでに時間を要すものもありますが、中期経営計画の主要課題として全社一丸となり推進しております。

また、人材育成と共に働きやすい作業環境の整備を進めております。

Q3 最後に株主の皆様にご一言申し上げます。

当社では従来のエンジン・トランスミッションの受注活動と共に電動化部品の受注活動を積極的に推進しております。更にEV向けに、車体部品の技術開発と受注活動を進めており、今後もアルミダイカストによる車体部品の軽量化活動に注力してまいります。株主の皆様には引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

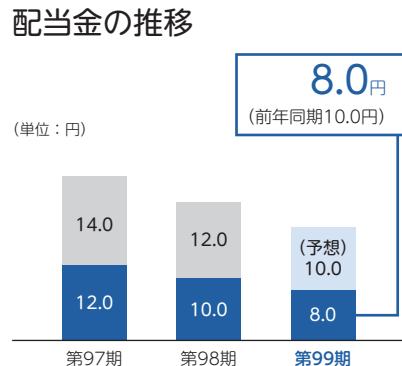
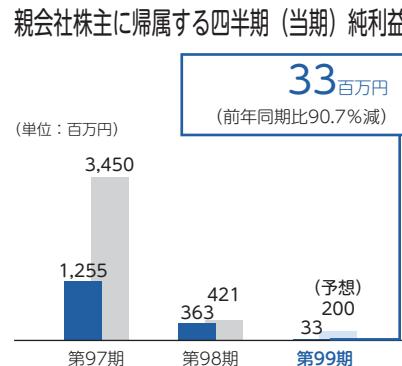
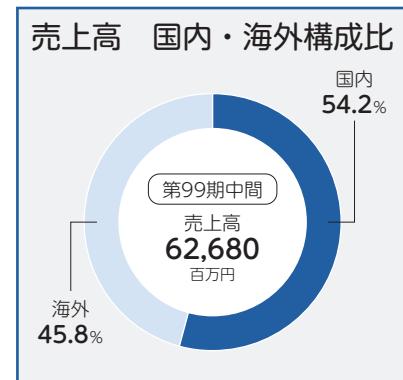
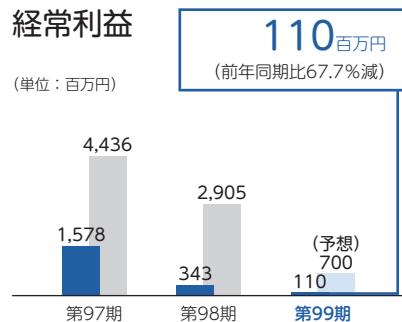
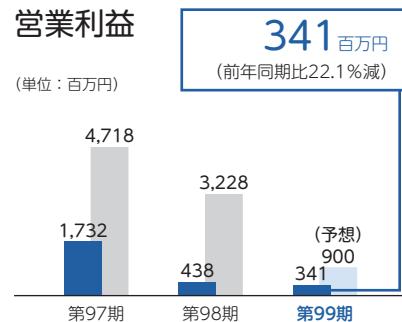
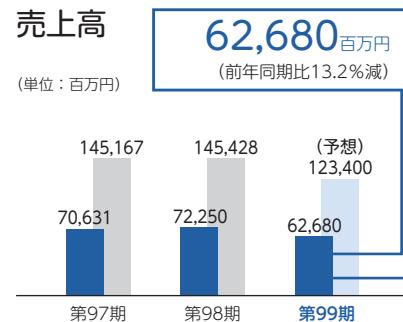
100年に一度と言われる自動車産業の大変革期において、アルミダイカストの需要も大きく変化してまいります。HVやPHV等も含めた内燃機関を要する車が当面の主流を占める中、エンジン・トランスミッションに加え電動化部品の急速な需要拡大が見込まれます。当社では、従来のエンジン・トランスミッションと共に電動化部品の受注活動を積極的に推進しております。更にEV向けとして、車体部品の技術開発と受注活動を進めております。アルミの比重は鉄の約3分の1、リサイクルも大変容易な金属です。EVには、当社の得意とするエンジン・トランスミッションがありませんが、航続距離に大きな影響を与える車体重量の軽量化において貢献できると考えております。アルミダイカストによる車体部品の軽量化活動に注力してまいります。

株主の皆様には引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

※OPCC…Optimal Process Condition Controlの頭文字をとった造語で、最適な良品製造条件の管理を表しています。

第2四半期決算ハイライト

連結決算ハイライト



第2四半期決算のポイント

売上高626億円（前年同期比13.2%減）、営業利益3億円（前年同期比22.1%減）

【売上動向】

- 国内外の自動車販売の減少、及びアルミ地金市況の下落等により減収となりました。また、北米における会計基準変更の影響により約9億円減となっています。

【利益動向】

- 自動車販売量の減少等により減益となりました。

主要連結財務データ

	第96期 2017年3月	第97期 2018年3月	第98期 2019年3月	第99期 2020年3月第2四半期
売上高 [百万円]	136,657	145,167	145,428	62,680
営業利益 [百万円]	6,912	4,718	3,228	341
経常利益 [百万円]	6,256	4,436	2,905	110
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 [百万円]	4,620	3,450	421	33
1株当たり四半期（当期）純利益 [円]	178.77	133.40	16.26	1.31
総資産 [百万円]	135,044	137,751	128,222	125,114
純資産 [百万円]	62,053	65,439	61,293	59,383
1株当たり純資産 [円]	2,394.58	2,522.55	2,357.98	2,323.73
年間配当・中間配当 [円]	20.0	26.0	22.0	8.0

(参考) EBITDA 2018年3月期 19,617百万円、2019年3月期 19,239百万円、2020年3月期第2四半期 7,574百万円

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

(注) 2019年3月期の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用したため、2018年3月期については、遡及適用後の数値を記載しております。

■ 通期の見通し

【売上】 連結売上高予想 1,234億円

- ダイカスト事業の自動車販売・生産減速の影響を受けた受注量の減少等により、売上は当初計画を下回る見込みです。
- 為替レートは、107円/米ドル、16.0円/元、1.5円/インドルピーを前提としております。

【利益】 連結営業利益予想 9億円

- 今年度からスタートした1921中期経営計画に基づき、より一層の原価低減活動と生産性改善に向けた施策を実施していきますが、販売量減による影響から、利益は当初予想を下回る見込みです。

■ (ご参考) 中期経営方針

10年ビジョン

信頼を究めよう 2025

ありたい姿

- お客様からの信頼No.1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億円+α

1921中期経営計画

将来の自動車市場を見据えた事業戦略

生産性向上、品質向上による稼ぐ力のアップ

企業の成長を支えるひとづくり

当社IRサイトで第2四半期決算説明資料を掲載しています

機関投資家向けに開示している決算説明資料、参考資料などを掲載しております。本冊子と併せてご参照ください。



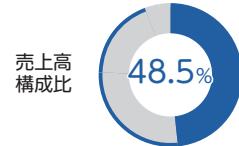
もしくは右記QRコードよりご確認ください。



事業別の概況

ダイカスト事業

日本

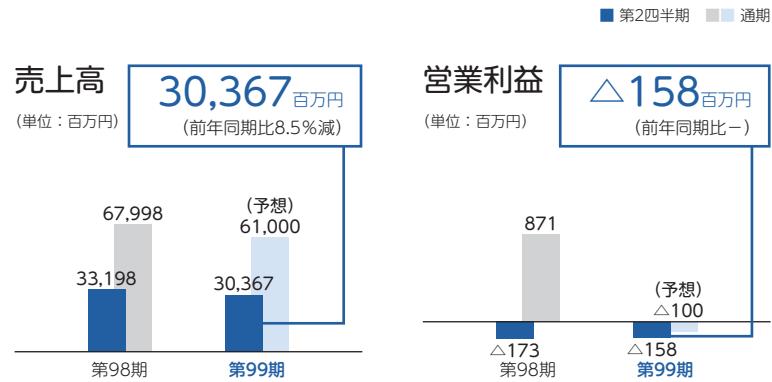


売上高

- ・取引先の生産調整、自動車販売減の影響等により販売量は減少
- ・アルミ地金市況の変動影響等により減収

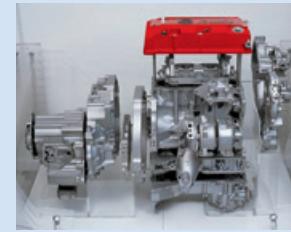
営業利益

- ・販売量が減少する中、製造コストの削減等原価低減活動の推進により前期並みの損益水準（損失）



ダイカスト事業

80年にわたるたゆまぬ研究開発で育んできた高い技術により、自動車のエンジン、トランスミッション、電動化部品など様々なダイカスト製品を製造・販売しています。



ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており錆肌が美しいことです。その特徴を活かし、複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

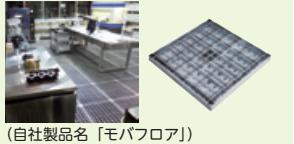
アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど多様な原料をもとに、厳しい管理のもと、品質の優れたアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



完成品事業

フリーアクセスフロア（配線・配管を床下に収める2重床システム）のアルミニウムダイカスト製フロアパネルを製造・販売しています。



北米

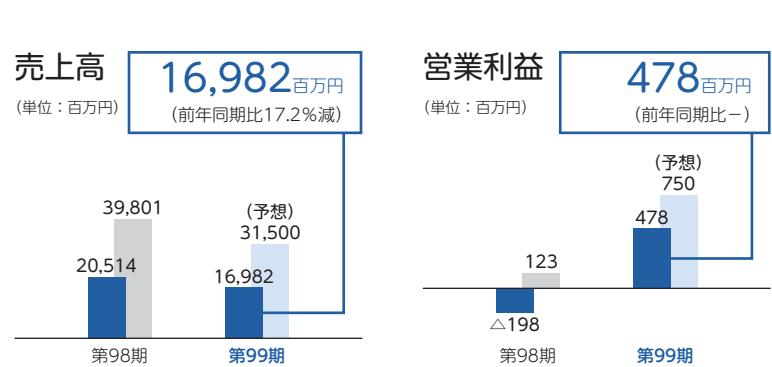


売上高

- ・米国工場の小型トラック向け製品の受注、メキシコでの新規製品の量産本格化はあるものの、主要顧客である自動車メーカーの販売低迷の影響を受け減収

営業利益

- ・販売量が減少する中、生産性の改善と減価償却費の減少等により増益



アルミニウム事業

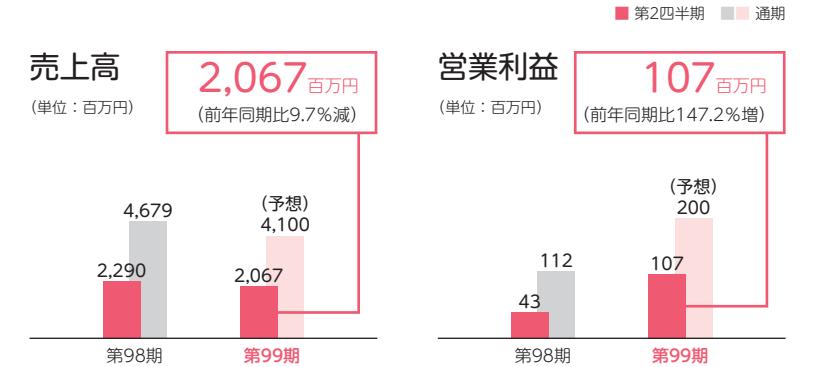


売上高

- ・アルミ地金市況の変動等により販売単価が下がり減収

営業利益

- ・原材料の調達価格の値下がり等により増益



アジア

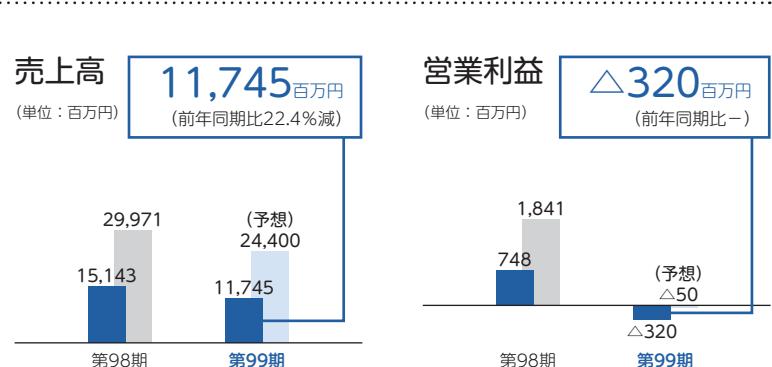


売上高

- ・中国市場では、中国系自動車メーカーの減速による販売量の落ち込みと為替影響等により減収
- ・インドも自動車販売量の減少により減収

営業利益

- ・急激な販売量の減少を補うまでのコスト削減に至らず損失を計上



完成品事業

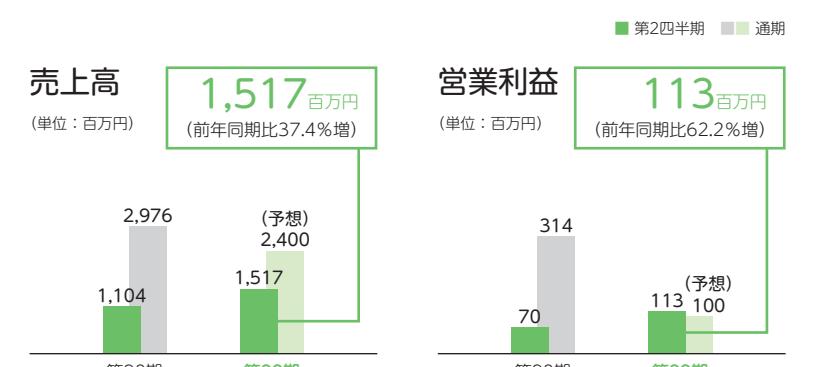


売上高

- ・クリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加し増収

営業利益

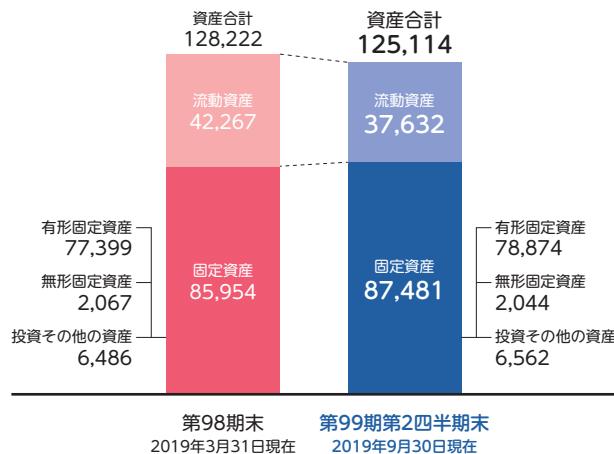
- ・売上の増加により増益



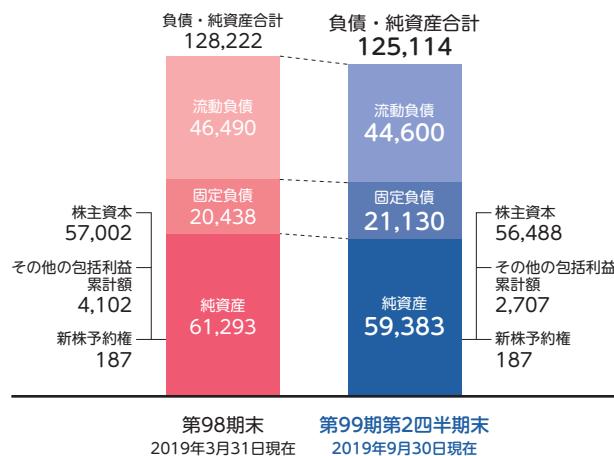
連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の概要

資産の部 (単位：百万円)

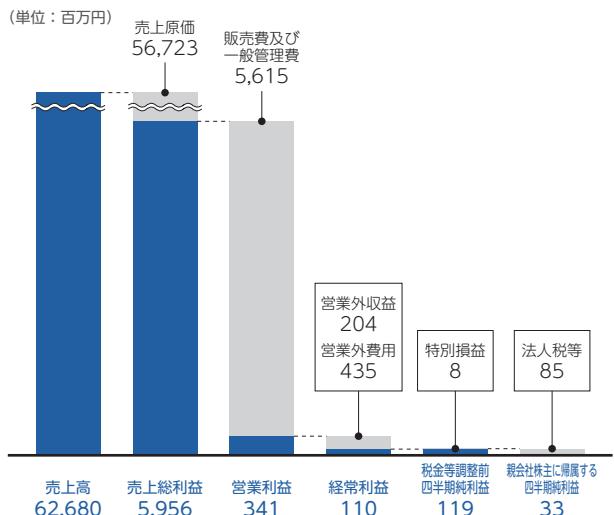


負債・純資産の部 (単位：百万円)



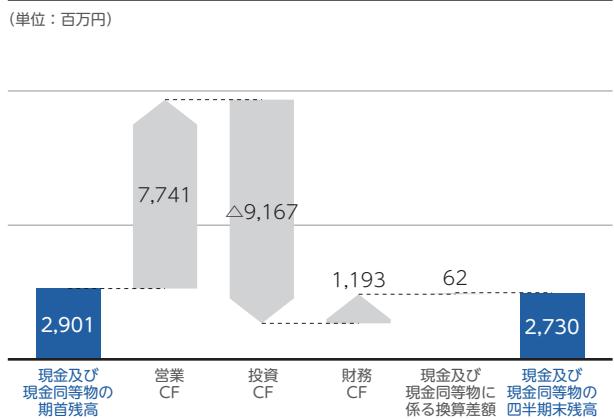
四半期連結損益計算書の概要

第99期第2四半期 (累計) 2019年4月1日から2019年9月30日まで



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

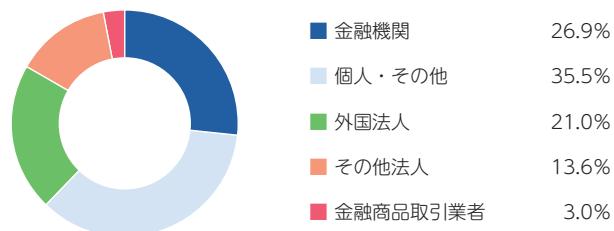
第99期第2四半期 (累計) 2019年4月1日から2019年9月30日まで



株式の状況

項目	数値
株式数及び株主数 (2019年9月30日現在)	
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	26,076,717株
株主数	6,060名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (平日9:00-17:00) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.ahresty.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

大株主 (上位11名) (2019年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,357	5.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,311	5.1
高橋 新	962	3.7
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP2SDUBLIN CLIENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	768	3.0
アーレステイ取引先持株会	664	2.6
日本軽金属(株)	657	2.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	628	2.4
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	625	2.4
スズキ(株)	565	2.2
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	544	2.1
(株)三菱UFJ銀行	544	2.1

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(602,046株)を控除して計算しております。また、小数点第1位未満を切り捨てて表示しております。

ホームページのご案内

当社ホームページ「株主・投資家情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。併せてご覧ください。



トップページ

「株主・投資家情報」ページ

<https://www.ahresty.co.jp>

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社との新規取引を開始

オートマチックトランスミッション世界シェア1位であるアイシン・エイ・ダブリュ株式会社（以下、アイシンAW）より日本生産HV向けリアカバーを受注、新規取引を開始しました。

受注製品はトヨタ新型RAV4に搭載するため、2019年6月よりトヨタ自動車向けに、9月よりアイシンAW向けに合わせて月産2万台以上を量産しています。

また、合肥アーレスティでもエイ・ダブリュ蘇州自動車部品有限会社より同製品を受注しており、8月より量産を開始しています。



トヨタ自動車 新型RAV4

JATCO Mexico, S.A. de C.V.より ベスト・パフォーマンス賞を2年連続受賞

2018年度の年間を通じた数量、機種の変動へのフレキシブルな対応が評価され、アーレスティメヒカーナがJATCO Mexico, S.A. de C.V.よりベスト・パフォーマンス賞を受賞しました。今回で2年連続での受賞となります。



Maruti Suzuki India Limitedより Overall Performanceを3年連続受賞

アーレスティインディアがMaruti Suzuki India LimitedよりOverall Performanceを3年連続で受賞しました。この賞は品質、納期、開発など全ての活動において高い実績を残したサプライヤーに贈られる賞です。



人材教育プログラムとして「CASE」の新講座を開講

アーレスティでは、ものづくりを支えるひとづくりが欠かせないと考えています。

国内外全拠点同一水準で体系的に教育を受けられる体制を整え、様々な人材教育プログラムを推進しています。そのひとつ、「グローバルRSTラーニング」のカリキュラムとして今期より「CASE」に関連する新講座を開講しました。電動化や自動運転化が進む中でニーズが高まる車両軽量化、電動化部品等について学びます。変化する顧客ニーズを的確に捉え、提案のできる人材の育成を行っていきます。



積極的な自然環境保護活動への参加

アーレスティは、アルミダイカストの製造を通じて自動車の軽量化、環境対応に貢献してきました。社員からの「仕事以外でも環境保護活動に貢献したい」という声をもとに、自然環境保護活動にも積極的に取り組んでいます。2007年から埼玉県越生町に「アーレスティの森」を持ち、東松山工場・熊谷工場、東京本社合同で植栽や間伐等の森林整備活動を行っています。その他、地域の清掃活動や、生物多様性を意識した里山づくりなど、多岐にわたる活動を推進し、年間80以上の企画を実施しています。





Corporate Information

■ 会社概要

(2019年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレスティ	
設立	1943年11月2日	
資本金	6,964百万円	
従業員数 (単独)	942名	
企業集団の従業員の状況	従業員数	
	ダイカスト事業日本	2,224名
	ダイカスト事業北米	2,608名
	ダイカスト事業アジア	2,119名
	アルミニウム事業	52名
	完成品事業	27名
	全社 (共通)	82名
	計	7,112名

■ 取締役

(2019年9月30日現在)

代表取締役社長	高橋 新
代表取締役	伊藤 純二
代表取締役	高橋 新一
取締役	金田 尚之
取締役	蒲生 新市
取締役	野中 賢一
取締役 (監査等委員)	石丸 博
社外取締役 (監査等委員)	志藤 昭彦
社外取締役 (監査等委員)	塩澤 修平
社外取締役 (監査等委員)	早乙女 雅人
社外取締役 (監査等委員)	森 明吉



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。